



災害に関連したデマや犯罪に注意！

あなたは、デマを信じますか？

災害時には、インターネットやSNS上で、いろいろなフェイクニュース(デマ、嘘)が投稿され、多く拡散されています。

動物園からライオンが逃げた。

迷彩服を着た窃盗グループが被災地に入っている、犯人は●●ナンバーの白色の●●に乗っている。

被災地で、性犯罪や外国人による略奪行為が多発している。

情報の嘘を見抜くポイント！

- ① 情報の発信元や内容を確認する。
- ② 信頼できる情報(公的機関の情報)を確認する。
- ③ 少しでも内容に違和感を感じたら、デマを疑う。

フェイクニュース(デマ、嘘)は、人々の不安をあおるだけでなく、救援活動に支障をきたす恐れがあります。安易に信じることなく、不確定な情報の拡散・書き込みはやめましょう。

今、見ている情報はデマではありませんか！



デマを信じちゃダメ～！！！！
デマの拡散はダメ～！！！！

災害に便乗した犯罪に注意を！

- 災害で避難中の家屋や閉店中の商店に対する**窃盗**
- 避難所に避難している者を狙った**窃盗**

避難所等においては**貴重品**をきちんと管理しましょう。

被災地の夜間などにおける**わいせつ・声かけ**事案

夜間などはなるべく**外出**を避け、**複数**で行動しましょう。

- 義援金を口実とした**詐欺**
- 家屋の修理で高額な費用を請求する**悪質商法**

自宅を訪問してきた者には**安易**に対応することなく、修理等は**一人**で**契約**しないようにしましょう。